



平成 19 年 2 月 26 日

各 位

会社名 わらべや日洋株式会社
代表者名 代表取締役社長 陶 新二
(コード番号 2918 東証第一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 窪田 彰二
(TEL. 042 - 345 - 3131)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 18 年 10 月 12 日に公表いたしました平成 19 年 2 月期（平成 18 年 3 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 2 月期の業績予想数値の修正

(1) 連結業績予想 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	141,010	3,104	1,272
今回修正予想 (B)	138,830	3,582	1,078
増減額 (B - A)	2,180	478	194
増減率 (%)	1.5	15.4	15.3
(参考)前期実績(平成 18 年 2 月期)	135,950	1,384	401

(2) 単体業績予想 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	101,392	2,761	1,477
今回修正予想 (B)	99,604	3,242	1,322
増減額 (B - A)	1,788	481	155
増減率 (%)	1.8	17.4	10.5
(参考)前期実績(平成 18 年 2 月期)	99,305	1,500	943

2. 修正の理由

(単体)

当社の売上高につきましてはコンビニ業界の競争激化の影響もあり、若干の伸び悩みはありました。しかし、地域特性を踏まえた商品開発を推進するとともに、効率性を意識しつつ、コストダウンを推し進めてまいりました結果、経常利益については前回予想比4億8千1百万円増加し、32億4千2百万円となる見込みであります。また、経営効率の改善を図るため、既存の村山第一工場、瑞穂工場、ライスセンター等を閉鎖し、東京工場（仮称 新村山工場）を建設する計画を推進中であります（平成19年4月稼働予定）。これに関連し、既存工場の閉鎖処理に係わる費用を一括し、特別損失として6億5千5百万円を計上することとなり、当期純利益は前回予想を1億5千5百万円下回る13億2千2百万円となる見込みです。

(連結)

連結損益につきましても単体と同様の理由により、売上高は21億8千万円減少し1,388億3千万円、経常利益は4億7千8百万円増加し35億8千2百万円となる見込みです。一方、工場閉鎖処理に係わる特別損失を7億4百万円計上する予定であり、当期純利益は1億9千4百万円減少し、10億7千8百万円となる見込みです。

以上